

2011年度

科目名	臨床薬学Ⅰ				
担当教員	廣谷 芳彦、小川 雅史、名徳 倫明				
配当	薬科4			コード	42068
開期	前期	講時	木曜日2限	単位数	2
授業テーマ	【必修】薬剤師職務に必要な基本的な知識を学ぶ。				
目的と概要	病院及び薬局における薬剤師業務の実際を知り、薬学の基礎知識を臨床における薬剤師業務にどのように関連づけるかを総合的に学ぶ。一般目標は、医療における薬剤師の役割を認識し、日常の薬剤師業務の概要を把握した上で、薬学の知識を調剤などの臨床業務に活用する能力(実践的知識)を身につける。主に、薬剤師業務の基本である調剤および調剤関連業務そして薬剤管理指導業務について基本事項を学ぶ。				
成績評価法	学期末テストの成績(80点)、平常点(10点)、レポート(10点)を総合的に評価する。				
テキスト	6年制対応教科書「調剤学」/栄田敏之編/廣川書店 第13改定「調剤指針」/日本薬剤師会編/薬事日報社				
参考書	「ビジュアル薬剤師実務シリーズ1、2、3、4」/上村直樹ら編集/2008/羊土社 日本薬学会編スタンダード薬学シリーズ10「実務実習事前学習」/旭 満里子他著/東京化学同人 「調剤学総論」/堀岡正義著/南山堂				
履修に当たっての注意・助言/準備学習	教科書を使用する講義では、復習の際、必ず1度よく理解した後、精読しそしてキーワードを覚える。				
講義計画					
回数	授業形態	授業内容	到達目標(SBO)	コア対応番号	学習領域
1	講義	(1)医療における薬剤師の使命と倫理 (2)薬剤師の位置づけと役割 (廣谷担当)	医療における薬剤師の使命や倫理などについて概説できる。	D I (1)	知識
			医療の現状をふまえて、薬剤師の位置づけと役割、保険調剤について概説できる。	D I (1)	知識
2	講義	(1)チーム医療の概説 (2)チーム医療における薬剤師の役割 (廣谷担当)	医療チームの構成や各構成員の役割、連携と責任体制を説明できる。	D I (1)	知識
			チーム医療における薬剤師の役割を説明できる。	D I (1)	知識
3	講義	(1)医薬分業のしくみと意義 (2)地域薬局の役割 (廣谷担当)	1. 医薬分業のしくみと意義を概説できる。	D I (1)	知識
			2. 医薬分業の現状を概説し、将来像を展望する。	C18(3)	知識
			3. かかりつけ薬局の意義を説明できる。	C18(3)	知識
			4. 地域薬局の役割を列挙できる。	C18(3)	知識
			5. 在宅医療および居宅介護における薬局と薬剤師の役割を説明できる。	C18(3)	知識
			6. 学校薬剤師の役割を説明できる。	C18(3)	知識
4	講義	処方せんと調剤(1) (廣谷担当)	1. 処方せんの種類、特徴、必要記載事項について説明できる。	D I (1)	知識
			2. 調剤を法的根拠に基づいて説明できる。	D I (1)	知識
			3. 処方オーダーリングシステムを概説できる	独自	知識
5	講義	処方せんと調剤(2) (廣谷担当)	1. 代表的な処方せんの例の鑑査における注意点を説明できる。	D I (1)	知識
			2. 代表的な医薬品の用法・用量および投与計画について説明できる。	D I (1)	知識
6	講義	処方せんと調剤(3) (廣谷担当)	1. 患者に適した剤形を選択できる。	D I (1)	知識
			2. 患者の特性(新生児、小児、高齢者、妊婦など)に適した用法・用量について説明できる。	D I (1)	知識
			3. 病態(腎、肝疾患など)に適した用量設定について説明できる。	D I (1)	知識

7	講義	処方せんの法的位置 (小川担当)	1. 処方せんの法的位置づけと機能について説明できる。	D I (2)	知識
			2. 処方オーダーリングシステムを概説できる。	D I (2)	知識
8	講義	処方監査と疑義照会① (名徳担当)	疑義照会の意義について、法的根拠を含めて説明できる。	D I (3)	知識
9	講義	処方監査と疑義照会② (名徳担当)	1. 代表的な医薬品について効能・効果、用法・用量を列挙できる。	D I (3)	知識
			2. 代表的な医薬品について警告、禁忌、副作用を列挙できる。	D I (3)	知識
10	講義	処方監査と疑義照会③ (名徳担当)	1. 代表的な医薬品について相互作用を列挙できる。	D I (3)	知識
			2. 疑義照会の流れを説明できる。	D I (3)	知識
11	講義	薬剤師業務での事故事例 (名徳担当)	薬剤師業務の中で起こりやすい事故事例を列挙し、その原因を説明できる。	D I (5)	知識
12	講義	誤りを生じやすい投薬例 (名徳担当)	誤りを生じやすい投薬例を列挙できる。	D I (5)	知識
13	講義	服薬指導の意義 (廣谷担当)	服薬指導の意義を法的、倫理的、科学的根拠に基づいて説明できる。	D I (2)	知識
14	講義	服薬指導における基本事項 (廣谷担当)	患者の基本的権利、自己決定権、インフォームドコンセント、守秘義務などについて具体的に説明できる。	D I (6)	知識
15	発表と討議	総括と討論 (廣谷・名徳担当)	1. まとめ	D I (6)・独自	知識
			2. 薬剤師業務の役割について討議する。	D I (6)・独自	態度
授業方法					
一般目標	学習方法	場所	教員数 (補助者数)	教科書以外の教材など	時間(分)
D I (1、2、3、5)	講義	講義室	3	パワーポイント、配布資料	90 x 14
独自	講義・全体討論	講義室	3	パワーポイント、配布資料、学生レポート	90 x 1